

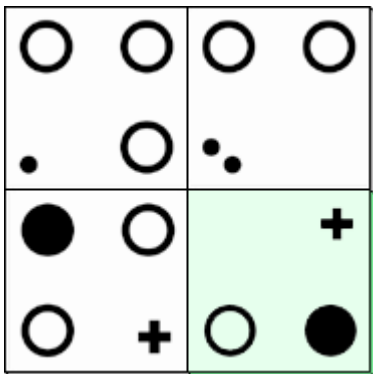
ここではルールの間違いやすい点について解説します。

- [タイルの配置ルール](#)
- [触媒反応](#)
  - [点1触媒, 点2触媒](#)
  - [十字触媒](#)
  - [天マイクロブル](#)
- [マイクロブルグループ](#)
  - [グループの成立条件](#)
  - [複数の所有者](#)

## タイルの配置ルール

配置したタイル上のマイクロブルと、既存のタイル上にある同色マイクロブルが最低1組結合する必要があります。つまり、1組も同色マイクロブル同士が結合しないような場所に、タイルを置くことはできません。

例：



緑のタイルを上図の向きで配置することはできません。なぜなら、配置したタイル上のマイクロブルと、既存のタイル上にある同色マイクロブルが1組も結合していないからです。

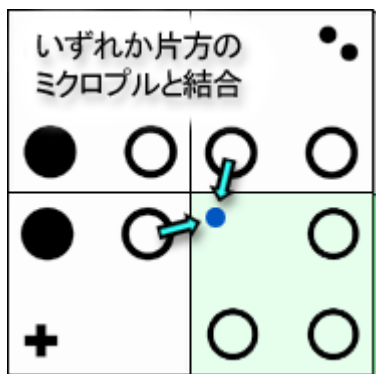
これは最も間違えやすい点なので注意して下さい。

## 触媒反応

触媒はマイクロブルと結合すると触媒反応が起きます。1つの触媒は1手番につき1回だけ触媒反応が起きます。

2つのマイクロブルと1つの触媒が同時に結合することはありません。触媒反応は1回のみです。

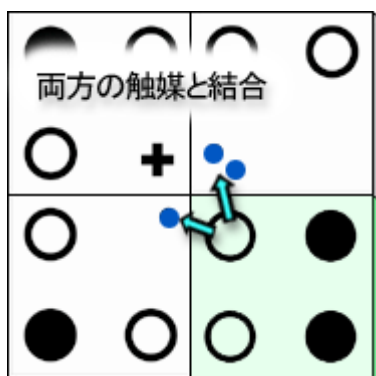
例：



手番プレイヤーは手札から緑のタイルをプレイしました。配置したタイル上の点1触媒は、既存のタイル上にあるマイクロプルのうち、いずれか片方と結合します。触媒反応は1回のみ発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを1枚引き、自分の山札へ置きます。

しかし、2つの触媒と1つのマイクロプルが同時に結合することは可能です。マイクロプルの結合回数に制限はありません。この場合、触媒反応はそれぞれ1回ずつ、計2回発生します。

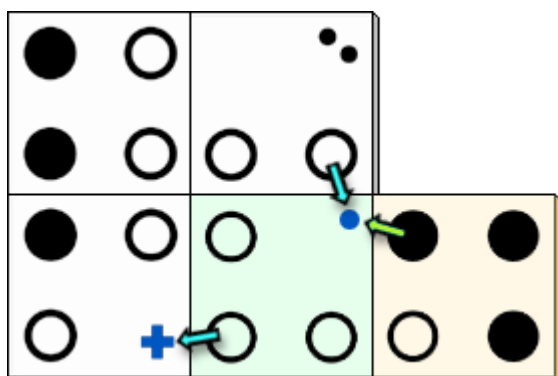
例：



手番プレイヤーは手札から緑のタイルをプレイしました。配置したタイル上の白マイクロプルは、既存のタイル上にある点1触媒および点2触媒と結合します。触媒反応は2回発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを3枚引き、自分の山札へ置きます。

また、追加手番では同じ触媒を使って再度触媒反応を起こすことができます。

例：



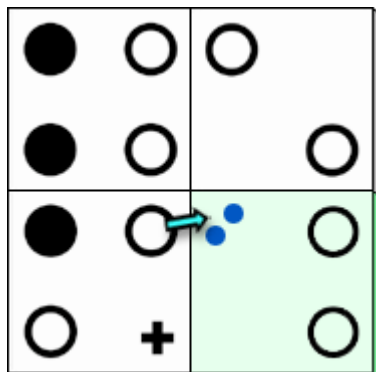
1. 手番プレイヤーは手札から緑のタイルをプレイしました。配置したタイル上の点1触媒と、既存のタイル上にある十字触媒が、それぞれ触媒反応を起こします。触媒反応は2回発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを1枚引き、自分の山札へ置きます。そして、さらに追加手番を得ます。
2. 追加手番で手札からオレンジのタイルをプレイしました。1. で配置した緑のタイル上にある点1触媒と、オレンジのタイル上にある黒マイクロプルが結合し、触媒反応を起こします。触媒反応は1回発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを1枚引き、自分

の山札へ置きます。

## 点1触媒, 点2触媒

触媒反応時はコアから自分の山札へタイルを補充します。点2触媒も1つの触媒として扱います。

例：



手番プレイヤーは手札から緑のタイルをプレイしました。配置したタイル上の点2触媒は、既存のタイル上にある白マイクロブルと結合します。触媒反応は1回発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを2枚引き、自分の山札へ置きます。

## 十字触媒

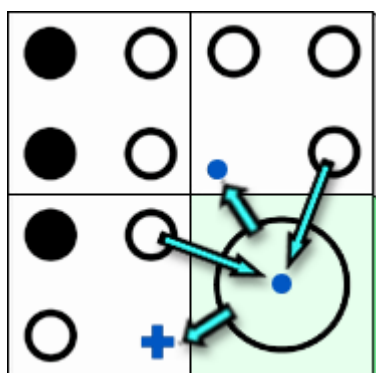
触媒反応時は手番を再度行うことができます。追加手番時は手札をプレイする以外のアクションを行っても構いません。また、追加手番はパスすることができます。

## 大マイクロブル

触媒反応時は4つの角全てにマイクロブルが描かれているものとして扱います。

中央の触媒も4つの角全てで触媒反応を起こすことが可能です。ただし、他の触媒と同様に触媒反応は1手番につき1回のみです。

例：



手番プレイヤーは手札から緑のタイルをプレイしました。配置したタイル上の（大マイクロブル内にある）点1触媒は、既存のタイル上にあるマイクロブル2つのうち、いずれか片方と結合します。また、既存のタイル上にある点1触媒と十字触媒は、配置したタイル上の大マイクロブルと結合し、それぞれ触媒反応を起こします。触媒反応は3回発生します。手番プレイヤーはコアからタイルを2枚引き、自分の山札へ置きます。そして、さらに追加手番を得ます。

# マイクロブルグループ

## グループの成立条件

1枚のタイルだけではマイクロブルグループは成立しません。例えば、ゲーム開始直後のスタートタイルだけしか場に出ていない状態で、そのタイルに対してマーカーを置くことは不可能です。

グループとして成立するには、最低1組の結合した同色マイクロブルが必要です。つまり、グループは2枚以上のタイルから成立します。

(2005-09-11：修正) マイクロブルグループは1枚のタイルだけでも成立します。これについては、私の質問に対する作者からの返答を引用します。(掲載許可を頂きました)

For example, when the game start, can the first player put a stone on the starting tile?

Yes, he can put a stone on the starting tile. More precisely, he put the stone on either the white group or the black group.

ゲーム開始直後のスタートタイルだけしか場に出ていない状態でも、そのタイルに対してマーカーを置くことは可能です。より正確に言うならば、スタートタイル上の白2個、もしくは黒2個のマイクロブルで構成されているグループのどちらにもマーカーを置くことができます。

It is any number of micropul of the same color linked together by being adjacent to one another.

a) It is O.K. whether it's the same tile or not.

Yes, it's ok if the group is on only one tile. In fact, a "group" of only one micropul could happen.

質問は「同一タイル上のマイクロブルが繋がっているだけでも、グループとして成立するのか？」という内容です。これに対する作者からの返答は「Yes」。同一タイルはもちろん、マイクロブル1個だけでもグループとして成立し、マーカーを置くことができる、とのことでした。

## 複数の所有者

所有権が別々に確保されている2つ以上のマイクロブルグループが、結果的に1つになった場合、このグループが閉じたとしても双方の得点はゼロになります。これは同一プレイヤーのマーカーであっても同様です。

[このページの一番上へ戻る](#)

---

[トップページ](#) > [マイクロブル](#) > [ルール補足](#)